

【183人、29団体に教育委員会表彰】

第3回教育委員会表彰が2月19日、被表彰者約500人が出席して、市文化会館（Zホール）で行われました。この表彰は、文化活動やスポーツ競技で活躍した児童・生徒、芸術・文化活動で功績を挙げた人や団体に贈られるものです。

受賞したのは、全国規模の大会などで優秀な成績を収めた小中学生、高校生183人、29団体、文化功労賞11人、13

団体。千葉啓一教育委員長から賞状と記念品が贈られた受賞者は、ステージ上で誇らしげな表情を見せていました。教育委員会表彰に先立ち、平成22年10月に千葉県で開催された第65回国民体育大会ウエートリフティング競技・少年の部94級スナッチで、見事優勝に輝いた後藤清隆君（岩谷堂高校3年）には、初めてとなる市長特別表彰が贈られました。



会場には受賞者をたたえる拍手が大きく響いた

【前沢区に最終処分場が完成】

奥州金ヶ崎行政事務組合が建設を進めてきた胆江地区最終処分場「エコパークおおぶくろ」の竣工式が2月22日、前沢区石田の同処分場で行われました。出席者約60人が見守る中、小沢昌記管理者と高橋由一（とよひ）副管理者が運転スイッチを押して、地元代表らがテープカットをして完成を祝いました。3月1日から稼動を開始した同処分場では、焼却灰などが埋め立てられています。



運転開始スイッチを押す小沢管理者と高橋副管理者

【有シシドに子育て支援優良企業表彰】



表彰状を手にする穴戸代表取締役と小沢市長

本年度の市子育て支援優良企業表彰に、理容・美容業を手掛ける（有）シシド（江刺区・穴戸寛一代表取締役）が選ばれました。表彰式が2月16日、奥州市役所で開かれ、小沢昌記市長から穴戸代表に表彰状と記念の盾が贈られました。この制度は、表彰を通じて、働きながら子育てをしやすい社会環境をつくろうと、市が平成19年度から行っているものです。今回の表彰で6社目

となります。同社は、社員の9割以上が女性。育児休業や子どもの看護休暇などの制度を整備しており、曜日ごとの勤務時間の設定など、社員の希望に沿った柔軟な対応も行っていきます。穴戸代表取締役は「過大な表彰をいただきありがたい。やはり社員の幸せが一番。制度を整備したことで、出産を機に辞める社員も少なくなりました」と語っていました。



おいしそうな料理に思わず手が伸びる

【米1kgグランプリで料理に舌鼓】

奥州金ヶ崎米穀グルメまつり「米1kgグランプリ」（胆江地区農業振興協議会主催）が2月20日、プラザイン水沢を会場に開かれました。これは米粉の新たな可能性を探ろうと企画されたものです。食の匠や高校生らが地場産の素材と米粉で作ったオリジナル料理33品が出品されました。約400人が訪れ、多くの料理に目移りしながら、ランチバイキングを楽しみました。

【いわてみちのく馬検定を初開催】

県が主催し、NPO法人奥州おもしろ学（佐藤秀昭理事長）が開催したいわてみちのく馬検定は2月11日、メイブルと県民情報交流センターで開催され、170人が受検しました。岩手の馬の歴史や文化について50問が出題され、100点満点中70点以上で合格となります。難しかったという感想が聞かれましたが、21日に、満点5人を含む150人の合格が発表されました。



開始とともに、黙々と問題に取り組む受検者たち

【おめでどうー！百歳の3人に記念品】

市は、2月に満百歳を迎えた3人に記念品を贈り、長寿を祝いました。菊池千代さん（江刺区玉里字下野）は、西和賀町に生まれ、18歳のときに僧侶だった故・順誠さんと結婚。1男2女をもうけ、孫1人に恵まれました。早くに順誠さんを亡くされたため、26歳で得度し、お寺を守っていました。お盆には、汗をかきながら、伊手や水沢まで檀家を訪問していたそうです。千代さんは「周囲に助けられ、苦しいことも、悲しいこともなかった」と振り返っていました。

佐々木政雄さん（衣川区石ヶ沢）は、二十歳のときに故・イサミさんと結婚。4男3女に恵まれました。稲作や山仕事に従事したほか、村議会議員も務めました。昔から体を動かすことが好きで、現在でも、草刈りや杉の葉集めなどを手伝っているそうです。政雄さんは「実感はないけど、百歳になってしまったんだね」と話し、笑いを誘っていました。



19日 政雄さん（写真中央）を囲んで記念撮影

【「モーモー母ちゃん」が奥州に集う】



全国から生産者や関係者約400人が集まりました

全国モーモー母ちゃんの集いinいわて（本市共催）の講演会と意見交換会が3月2日、市文化会館（Zホール）で行われました。講演会では、宮崎県が生産者が、昨年起こった口蹄疫について涙ながらに講演。2度と繰り返さぬよう防疫体制の徹底を訴えました。一方、意見交換会では、市内の生産者が前沢牛コロッケや生キャラメルを生産事例を紹介し、関心を呼んでいました。

全国モーモー母ちゃんの集いinいわて（本市共催）の講演会と意見交換会が3月2日、市文化会館（Zホール）で行われました。講演会では、宮崎県が生産者が、昨年起こった口蹄疫について涙ながらに講演。2度と繰り返さぬよう防疫体制の徹底を訴えました。一方、意見交換会では、市内の生産者が前沢牛コロッケや生キャラメルを生産事例を紹介し、関心を呼んでいました。



9日 手を合わせ感謝の気持ちを表す千代さん



23日 花束に笑顔を見せるマサヨさん